

種目名	1 国語	選定替えの有無	有・無	選定発行者名		従来の発行者名	光村図書
-----	------	---------	-----	--------	--	---------	------

発行者 観 点		東京書籍	学校図書	三省堂 ※見本本なし	教育出版	光村図書
1 学習指導要領との関連		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の趣旨をきちんと反映している。 「つながる」で前学年との関連が明示しており、スパイラルな学習を意識している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の趣旨をきちんと反映している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の趣旨をきちんと反映している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の趣旨をきちんと反映している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の趣旨をきちんと反映している。 確かな力を身に付け、学ぶことの楽しさを知り、言葉で人とつながることをコンセプトにしている。 入門期の「さあはじめよう」で幼稚園や保育園との連携に配慮している。
2 あいちの教育の基本理念		<ul style="list-style-type: none"> 他者との絆、命をテーマにした作品が多く取り入れられており、「共に生きる」という基本的視点と合致している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学びの交流を重視しており、「自分を生かす」という基本的視点と合致している。 	<ul style="list-style-type: none"> 生命の大切さに触れる作品が取り入れられており、「共に生きる」という基本的視点と合致している。 	<ul style="list-style-type: none"> 生命や自然の大切さに気付かせる作品が取り入れられており、「共に生きる」という基本的視点と合致している。 	<ul style="list-style-type: none"> 平和・国際理解に関する内容を意識して取り入れており、「世界にはばたく」という基本的視点と合致している。 命をテーマにした教材を各学年で取り入れており、「共に生きる」という基本的視点と合致している。
3 内容等	(1) 内容の選択	<ul style="list-style-type: none"> 「国語のノートの作り方」のページは良い。 巻末のローマ字表が見やすい。「前学年までに習った漢字」に熟語が記載されており、語彙を増やすのに有効である。 各単元の後半に「言葉の力」のコーナーがあり、「言語力の育成」が強く意識されている。 「てびき」が上下段に分けて記載しており、個の学習特性に応じた指導法を選択できるようになっている。 慣用句やノートの取り方の場面を用いて既習漢字の復習を図るなど、児童が興味関心をもって取り組みやすい配慮がされている。また、課題を穴埋め問題にするなど、基礎的・基本的な内容の定着を図りやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 低中学年では、てびき「くくごのカギ」「ことばのきまり」のコーナーで言語事項を重視した内容が取り上げられており、基礎的・基本的な言語力の育成を考慮している。 6年「インターネット・コミュニケーション」「自分の脳を自分で育てる」など、説明文教材は、時流に合致し、児童の興味・関心を高めるのに良い内容である。 5・6年「メディアの目」で情報化社会に対応している点が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材の随所に「おぼえておきましょう」のマークを付けたコーナーがあり、基礎的・基本的な内容の定着を図るための工夫がなされている。 メディアや話題の場所を題材に取り上げるなど、児童が実生活と関連して学習に臨めるような教材が多い。長短の説明的文章を複数併載するなど、段階的に学習を進められるような配慮がある。 児童に親しみのある題材を用いたり、写真や図を多用したりすることで、学習に対する抵抗感を減らそうという工夫が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学びのステップ」「ふりかえり」のコーナーがあり、身に付ける力を児童自身が意識しやすい構成となっている。 「学習の進め方」や「ここが大事」など、児童の自主的な学びを考慮し意欲を高める工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 思考力、判断力を養うような問いかけがなされている。話し合いの仕方を学習させている。 「言葉」を素材にした言語単元を設け、言葉に対する興味・関心が喚起できるように工夫されている。 情景描写などを通して心情を考えさせたり、調べたことについて自分の考えをまとめ発表させたりすることを通して、思考力・判断力・表現力を総合的に育もうという教材を意図的に取り上げている。

発行者		東京書籍	学校図書	三省堂 ※見本本なし	教育出版	光村図書
観 点	(2) 内容の程度	<p>ア 物語、説明文共に児童の発達段階や日常生活をよく考慮している。</p> <p>イ 「こんな本もいっしょに」で関連図書が紹介されており、比較読み、多読につなげやすい。本の紹介量が多い。</p> <p>ウ 2年生の生活科や3年生のレポートなど、他教科との関わりが考慮されている。</p>	<p>ア 教材の内容は各学年の発達段階に合致している。</p> <p>イ どの学年においても上下の巻末に「資料編」として発展的教材が配置されている。</p> <p>ウ 1年「はがきをかこう」2年「手紙を書こう」など、実社会に関連付けられる題材が学年に応じて取り入れられている。</p>	<p>ア 各領域等において、児童の発達段階に適した内容となっている。</p> <p>イ 全学年に別冊資料集「学びを広げる」がついており、個の学びに応じて、補充的な学習や発展的な学習ができるよう工夫されている。</p> <p>ウ 「学びを広げる」では、「他教科でも役立つ言葉についての資料集である」と明示している。</p>	<p>ア どの学年も児童の発達段階に適した内容となっている。</p> <p>イ 巻末見開きに「〇年生で読みたい本」が丁寧に紹介されている。</p> <p>ウ 2年「手紙を書いてつたえよう」、3年「見学したことをしらせよう」など、実社会や他教科との関連を考慮した題材が掲載されている。</p>	<p>ア 物語文、説明文ともに優れた内容であり、児童の発達段階に合致している。</p> <p>イ 理科や道徳、総合的な学習との関連を考慮した単元が多く配置されている。</p> <p>ウ 「読む」→「書く」→「話す・聞く」という段階を踏むことにより、教材を通して各領域の能力を伸ばしようという意図が感じられる。教材間の題材の関連性もあり、学習の流れが円滑である。</p>
	(3) 内容の構成	<p>ア 各単元の初めのページに学習領域と目標がわかりやすく示されている。</p> <p>イ 巻末に筆順や意味がわかりやすく記載されている。4年生では「同じ部首の漢字」のコーナーがある。</p> <p>ウ 各領域の系統・配列・分量は適切である。</p> <p>エ 「つながる」で、前学年での学びを確認でき、「ひろがる」で発展課題に対応できる。</p> <p>オ 「続けてみよう」により、児童が自発的に発展的な学習に取り組もうという足掛かりを得ることができる。本文欄外に、学習目標に準拠した解説や問い掛けがある教材もあり、常に学習内容を意識しながら取り組むことができる工夫が見られる。</p> <p>カ ふろく「言葉の世界」で発展的学習に対応している。</p>	<p>ア 学年冒頭に「学級づくり」のページがあり、学び合いの態度を身に付けさせるために効果的な構成となっている。</p> <p>イ 習っていない漢字にルビを振って使用している部分が多く、漢字を覚えやすくする工夫がされている。</p> <p>ウ 「新しい漢字を読んでみよう」で文中での漢字使用例が提示されていて良い。</p> <p>エ 「言葉の決まり」「漢字のへや」「言葉のいずみ」のページで言語事項の習得が図りやすい。</p> <p>オ 各領域の系統的な配置がなされている。</p> <p>カ 補充的な学習や発展的な学習の配列・分量は適切である。</p>	<p>ア 目次の次に「〇年生で学習すること」の一覧ページがあり、年間の見通しが立てられる。</p> <p>イ 「新しい漢字を学ぼう」のページは本の端が水色で彩色されており、見つけやすい。本文を学ぶ前に新出漢字の学習を行う構成は本書のみである。</p> <p>ウ 2年生以上に「前学年で習った漢字」のページがあり、既習内容の定着を図ることができる。</p> <p>エ 漢字の読みの由来や使用例など、児童が漢字を実生活に即して活用していけるような学習ができるよう工夫されている。また、初めに単元の流れを掲載することにより、見直しをもって学習に取り組むことができる。</p> <p>オ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の系統・配列・分量は適切である。</p> <p>カ 関連図書が多く紹介されており、発展的学習に役立つ。</p>	<p>ア 「ふろく」の初めのページに「この本で学ぶこと」が分かりやすくまとめられている。</p> <p>イ 「漢字の広場」では、意味や使い方などテーマを設けてあり、語彙を豊かにし、漢字への理解を深める工夫がなされている。また、前学年で学習した漢字を使って短文を作る活動を設定し、文の中で漢字を使えるように工夫されている。</p> <p>ウ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の系統・配列・分量は適切である。</p> <p>エ 「ふろく」に関連図書の紹介がされている。</p>	<p>ア 単元構成に無理がなく、適切に配置されている。</p> <p>イ 新出漢字の筆順や音訓がわかりやすい。</p> <p>ウ それぞれの領域が系統的かつ関連付けを図りながら、掲載されている。分量も適切である。</p> <p>エ 目次とは別に「〇年生の学習をみわたそう」のページがあり、1年間の学習を見通すことができる。「いつも気を付けよう」ではこれまでの学習の確認ができる。</p> <p>オ 単元毎に観点や目標を具体的に文章で提示することにより、児童が学習活動や方向性を意識して学習に取り組むことができる。「季節の言葉」の写真等、図表が効果的に用いられているものが多く、視覚的にも学習に取り組むやすい。</p> <p>カ 「この本、読もう」で児童の読書活動を支援している。</p>
3 内 容 等						

発行者 観 点	東京書籍	学校図書	三省堂 ※見本本なし	教育出版	光村図書
4 表記・表現及び使用上の便宜等	<p>ア 単元の最初に単元扉を配置し、そこに単元名、ねらい、イラスト、紹介文などを分かりやすく配置し、児童の興味を引く内容になっている。</p> <p>イ 学習のねらいが簡潔に示されており、つかみやすい。</p> <p>ウ 手引き・練習・まとめが大変丁寧にわかりやすい形で掲載されている。</p> <p>エ 漢字、語句の扱いが適切である。</p> <p>オ 物語文教材の挿絵が大きく、児童のイメージを膨らませやすくなっている。</p>	<p>ア 1年上でインデックス形式のページ構成が取り入れられており、興味深い。</p> <p>イ 学習のねらいの提示の仕方はややおおまかである。</p> <p>ウ 3年下P50の「ノートれい」など、学習の手引きにノートの使い方が示されているところが良い。</p> <p>エ 「国語のカギ」「授業で使う言葉」に一般社会で役立つ、言語技術的知識・技能が解説されており、日常生活での読みの活用につなげることができる。</p> <p>オ 掲載されている写真に分かりやすい説明文（キャプション）がつけられている。</p>	<p>ア 表記・表現は適切である。</p> <p>イ 学習のねらいの提示の仕方はややおおまかである。</p> <p>ウ 資料集「学びを広げる」を使って、今まで学習したことのみまとめや復習ができるように工夫されている。</p> <p>エ 2年P82に「国語じてん」についての記述があり、以後6年まで辞典を使う教材が多く配置されている。</p> <p>オ 左ページのページ数横に単元名記載されている点は、検索時に便利である。</p>	<p>ア 子どもたちの会話が書かれた吹き出しが多く、児童が関心を引く工夫がされている。</p> <p>イ 単元冒頭のめあての下に「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の他に「文化」「読書」が示されている。</p> <p>ウ 単元の目標と学習のめあてが記載されており、学ぶことが具体的に分かる。</p> <p>エ 1年上、2年下の巻末に切り取って使えるカードがついている。</p>	<p>ア 「あったらいいなこんなもの」のドラえもんが児童の興味をひくであろう。</p> <p>イ ねらいが「学習」に分かりやすく表示されており、つかみやすい。</p> <p>ウ 「てびき」を上下段に分けて記載してあり、見やすい。「ふりかえろう」「たいせつ」のコーナーが、児童自身の確かめにつながる。</p> <p>エ 手引きのキャラクターに統一感がある。</p> <p>オ 「ごんぎつね」で比較してみたところ重要語句や難語句の説明が最も丁寧であった。</p>
5 印刷・造本等	<p>ア 装丁が美しく、印刷も鮮明である。</p> <p>イ 1年生の文字は太めで見やすくなっている。</p> <p>ウ ページ下に5行ごとの行数と1行ごとのドットが示されており行数が分かりやすい。</p> <p>エ 造本や体裁が整っており問題はない。</p> <p>オ ページ数が増えても途中で開きやすい製本になっている。</p>	<p>ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、色彩とも適切である。</p> <p>イ 全学年とも上下2分冊で構成されている。</p>	<p>ア 2年生以上は、資料集「学びを広げる」との2分冊構成になっている。</p> <p>イ 辞書作りのノウハウを生かした耐久性に富んだ用紙が使用されている。</p>	<p>ア 写真、挿絵が美しく鮮明である。</p> <p>イ 全学年上下2分冊で構成されている。</p>	<p>ア 発色が美しく、低学年に大変インパクトがある。</p> <p>イ 写真が多用されているが、どれも鮮明で美しい。字体も見やすく、使われている記号も適切な大きさで、まとまりが良い。</p> <p>ウ 独自のフォントが大変見やすい。</p> <p>エ 紙の質感が柔らかく、心地良い。</p>